米海軍横須賀基地とイラン戦争

イージス艦が次々に、静かに出動して行った　　2026年1月～



横須賀基地　原子力空母、揚陸指揮艦、イージス艦が配備
中東・インド洋に5隻が派遣された

	艦名	艦番	VLSセル数	就役年	備考
1	ジョージ・ワシントン	CVN73	--	1992	
2	ブルーリッジ	LCC19	--	1970	
3	ロバート・スモールズ	CG62	122	1989	米国に帰還予定
4	ミリウス	DDG69	90	1996	トマホーク発射
5	ヒギンズ	DDG76	90	1999	ディエゴガルシア
6	ハワード	DDG83	96	2001	
7	マッキャンベル	DDG85	96	2002	
8	シュープ	DDG86	96	2002	
9	プレブル	DDG88	96	2002	
10	マスティン	DDG89	96	2003	封鎖作戦関与か
11	デューイ	DDG105	96	2010	
12	ジョン・フィン	DDG113	96	2017	封鎖作戦に参加
13	ラルフ・ジョンソン	DDG114	96	2018	
14	ラファエル・ペラルタ	DDG115	96	2017	揚陸艦の護衛

原子力空母ジョージワシントン

横須賀配備　2008～2015年、米国で燃料棒交換、2024年～

2026年5月10日試験航海に出港、17日帰港　23日作戦航海に出港



第7艦隊司令部　揚陸指揮艦ブルーリッジの艦上に

1970年就役の老朽艦　海軍中将が指揮

横須賀基地司令官は海軍少将、空母の艦長は大佐



トマホーク発射できるイージス艦11隻配備



米海軍原子力潜水艦が年に4、5回入港

2026年3月で通算1096回入港



3月3日、イランにトマホークミサイルを撃ち込んだイージス艦ミリウス

25年10月7日撮影





横須賀配備艦艇がイラン攻撃に参加

イージス駆逐艦「ミリウス」(DDG69)がトマホーク発射



3月1日から続く抗議行動　横須賀基地の正面ゲート

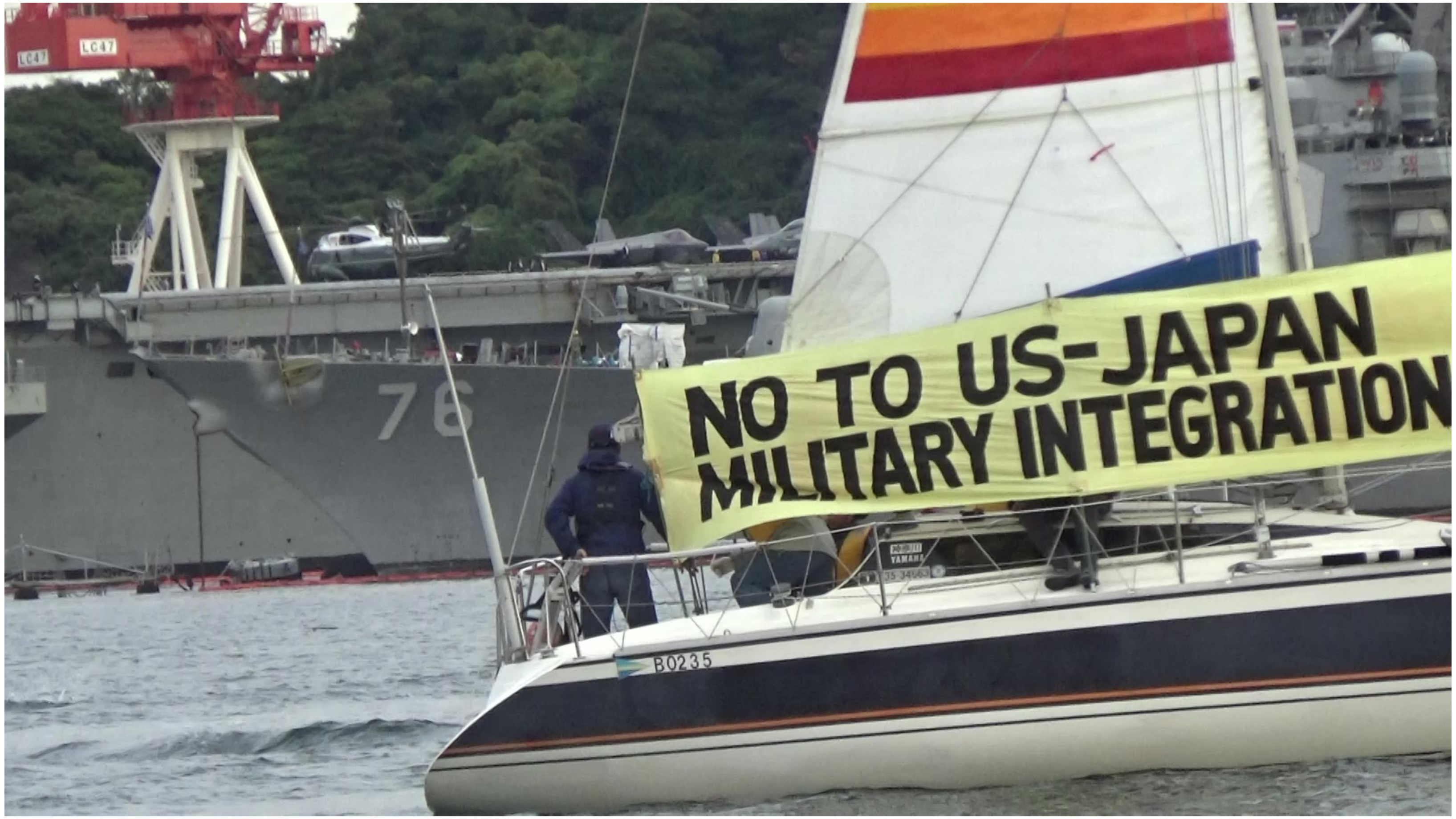
基地に出入りする車はとても多い

米軍人、家族の多くが日本の交通ルールを学んでいない!!



トランプ大統領横須賀訪問　2025年10月28日

空母の格納庫で、「政治的な正しさは求めない」と演説



●イージス駆逐艦ミリウス
(DDG69　1996年就役)

- 2026年1月8日、USSミリウスは横須賀基地のHMPイーストに接岸;2月9日に再び出港しました。
- 2月11日にA-10に短時間停泊。
- 2月13日から沖縄ホワイトビーチ海軍施設のネイビーピアイーストに係留。 2月20日、ミリウスはシンガポールのチャンギ海軍基地RSSシンガポール7番バースに1日間の寄港のため給油を行った。
- 2月21日から22日までマラッカ海峡を北上通過。
- 2月25日から2?日まで、英領インド洋テリトリーのディエゴガルシア海軍支援施設ブラボー埠頭に係留。
- 3月3日、USSミリウスは北アラビア海で航行中にイランの目標にトマホーク陸上攻撃ミサイル(TLAM)を発射し、エピック・フューリー作戦を支援しました。
- 3月19日にUSNSヘンリー・J・カイザー(T-AO 187)と洋上補給を実施。3月20日にUSNSカール・ブレイシャー(T-AKE 7)と洋上補給を実施。3月27日にUSNSヘンリー・J・カイザーと洋上補給を実施しました。 4月22日、ミリウスは北アラビア海で航行中にUSNSカール・ブレイシャーと洋上補給を実施しました。 5月12日、G・グラハム・ヴァン・フック司令官が艦上での指揮交代式にてスティーブン・テルイェセン司令官に代わりミリアス20代艦長に就任しました。

●イージス駆逐艦ラファエル・ペラルタ (DDG115 2017年就役)

- 2月10日、フィリピン海で航行中にUSSトリポリ(LHA 7)と洋上補給を実施。2月12日に再びネイビーピア・ウェストに短時間停泊し給油。 2月17日、USSラファエル・ペラルタは7週間の哨戒を終え、横須賀艦隊基地HMPイーストに接岸しました。
- 2月18日から19日まで錨地(A-12)で弾薬降ろしのため投錨。

- 3月9日 出航前に錨地(A-12)で短時間停船し弾薬積み込みを行いました。
- 3月13日、ルソン海峡(台湾とフィリピン・ルソン島の間の海峡)を西向きに通過。
- 3月17日、USSトリポリおよびUSSニューオーリンズ(LPD 18)を護衛した後、アナンバス諸島北方を東向きに通過。3月20日から24日までスービック湾リベラ埠頭南に係留。
- 3月26日にホワイトビーチ海軍施設のネイビーピアウエストに短時間停泊しました。 3月30日、南シナ海西部でUSNSジョン・ルイス(T-AO 205)と洋上補給を実施。3月31日にシンガポール海峡を西向きに通過。3月31日から4月1日までマラッカ海峡を北上通過。4月4日から5日まで、英領インド洋上の海軍支援施設ディエゴガルシアのブラボー埠頭に係留。
- 4月11日 北アラビア海でエピック・フューリー作戦支援のためUSNSヘンリー・J・カイザー(T-AO 187)と洋上補給を実施。5月7日にホルムズ海峡を南下通過。5月9日にUSNSジョン・ルイスと洋上補給を実施。

強襲揚陸艦トリポリ

2022年5月横須賀入港時、現在は佐世保配備

満載排水量44,447トン、全長261m、海兵隊員1,687名搭載



●イージス駆逐艦ヒギンズ (DDG76 1999年就役)

- 2026年1月12日、ヒギンズは弾薬搭載のためA-10に投錨
- 2月5日に横須賀基地を出航。
- 2月9日、ヒギンズはグアム海軍基地シエラ埠頭3番バースに1日間寄港しました。
- 2月14日に再びグアム海軍基地に短時間停泊。
- 2月20日から22日までRSSシンガポールのバース6に係留;2月22日から23日までマラッカ海峡を北上通過。
- 2月26日、ヒギンズは英領インド洋領土ディエゴガルシア海軍支援施設のアルファ埠頭に1日間寄港しました。

英米の軍事基地　ディエゴ・ガルシア島

3月20日　イランがミサイル攻撃　イランから3000km



イラク戦争開戦直前の横須賀基地　2002年12月

イージス艦カーチス・ウィルバー(DDG54 1994年就役)



2002年12月16日　DDG54の対岸には
イージス艦「きりしま」(DDG174)と見送る家族
米軍からディエゴ・ガルシア島の防空を依頼されていた





●イージス駆逐艦ジョン・フィン (DDG113　2017年就役)

- 1月16日から17日まで台湾海峡を通過。
- 1月21日から24日までフィリピン共和国マニラ南港ピア15、バース4に接岸。1月30日から31日までシンガポールのセンバワンターミナル、バース7に係留。1月31日から2月1日までマラッカ海峡を北上通過。2月5日、ジョン・フィンは最近、英領インド洋領土ディエゴガルシア付近に到着し、弾道ミサイル防衛(BMD)作戦を支援しました。
-
- 3月23日、USSジョン・フィンは北アラビア海でエピック・フューリー作戦支援のためUSNSヘンリー・J・カイザー(T-AO 187)と洋上補給を実施;3月28日に再び洋上補給を実施しました。
- 4月24日、ディエゴガルシア海軍支援施設ブラボー埠頭に短時間停泊し給油。 5月5日、ドローン・D・ジョンソン司令官が艦上での第9代艦長に就任。
- 5月8日、ジョン・フィンは北アラビア海でUSNSジョン・ルイス(T-AO 205)と洋上補給を実施し、
- イランに対する米国海軍の封鎖作戦を支援しました。

●イージス駆逐艦マスティン(DDG89　2003年就役)

2026年3月横須賀配備だが、すぐにインド洋に派遣

- 3月2日、マスティンはハワイのジョイントベース・パールハーバー・ヒッカムのピアM2に接岸。3月9日に出航前に給油のためH2埠頭に移動。
- 3月19日にグアムのアプラ港エコー燃料埠頭に短時間停泊。
- **3月23日**、マスティンは横須賀基地に入港、バース9に接岸。3月25日に錨地(A-12)で短時間停泊。4月14日に再び出航。
- 4月21日、マスティンはシンガポールのチャンギ海軍基地RSSシンガポール6番バースに1日停泊。
- 4月22日から23日にかけてマラッカ海峡を北上通過。
- 5月2日、マスティンはインド洋で米国のイラン封鎖支援中のUSNSカール・ブラッシャー(T-AKE 7、貨物弾薬補給艦)と洋上補給を実施した。5月10日にUSNSアークティック(T-AOE 8、高速戦闘支援艦-速力30ノット)と洋上補給を実施。

空母乗組員の自殺が相次ぐ　22年5月7日CNN

- ジョージ・ワシントンの燃料交換と整備点検は２０１７年の夏から続いている。当初は４年で終了するとみられていたが、度重なる遅延を受け、現在は早くても２３年３月までかかる見通しだと海軍は説明する。
- 同艦について、今回ＣＮＮの取材に応じた水兵らの全員が居住には適さない状態だと口をそろえた。水兵らが乗艦したおよそ１年前にはすでに燃料交換と整備点検の作業工程に入っていたが、乗員の一部を艦内に宿泊させる準備は整っているとみられていた。
- しかし水兵らによると、作業開始から数年が経過してもなお、艦は１日を通じて建設区域と化したままだった。提供される食事の質にも不安を覚えたが、上層部はこうした問題を放置し、乗員の不満を聞き入れる気がないように感じたという。

米軍浦郷弾薬庫に桟橋設置工事



米軍のトレーラー　ミサイル・火薬類を輸送中

比与宇火薬庫近くの道路。日本の法令に基づいて「火」マークを付けている



宮古島駐屯地で陸上総隊演習　5月17日



日米共同指揮所演習に抗議　５月１７日



米軍の参加者約20名は裏門から入った



ヘリコプターの墜落事故　2023年

乗員同乗者10人が死亡駐屯地の中に碑が出来ていた



宮古不発弾保管庫—信管を抜いて保管される



不発弾保管庫が宮古島にもあった



５月18日　日米共同指揮所演習

宮古島駐屯地で休憩中の「第12海兵沿岸連隊」の米兵４人



フィリピンでのバリカタン演習に自衛隊が1400名参加

2026年4月20日～5月8日　後方右側は陸上自衛隊の地対艦ミサイル



横浜ノースドック配備の小型揚陸艇(LCU)もバリカタン演習に参加

左側の車両は高機動ロケット砲システム・ハイマース、右側は無人対艦ミサイル・ネメシス



自衛隊は海上輸送力増強中　中型輸送艦「ようこう」



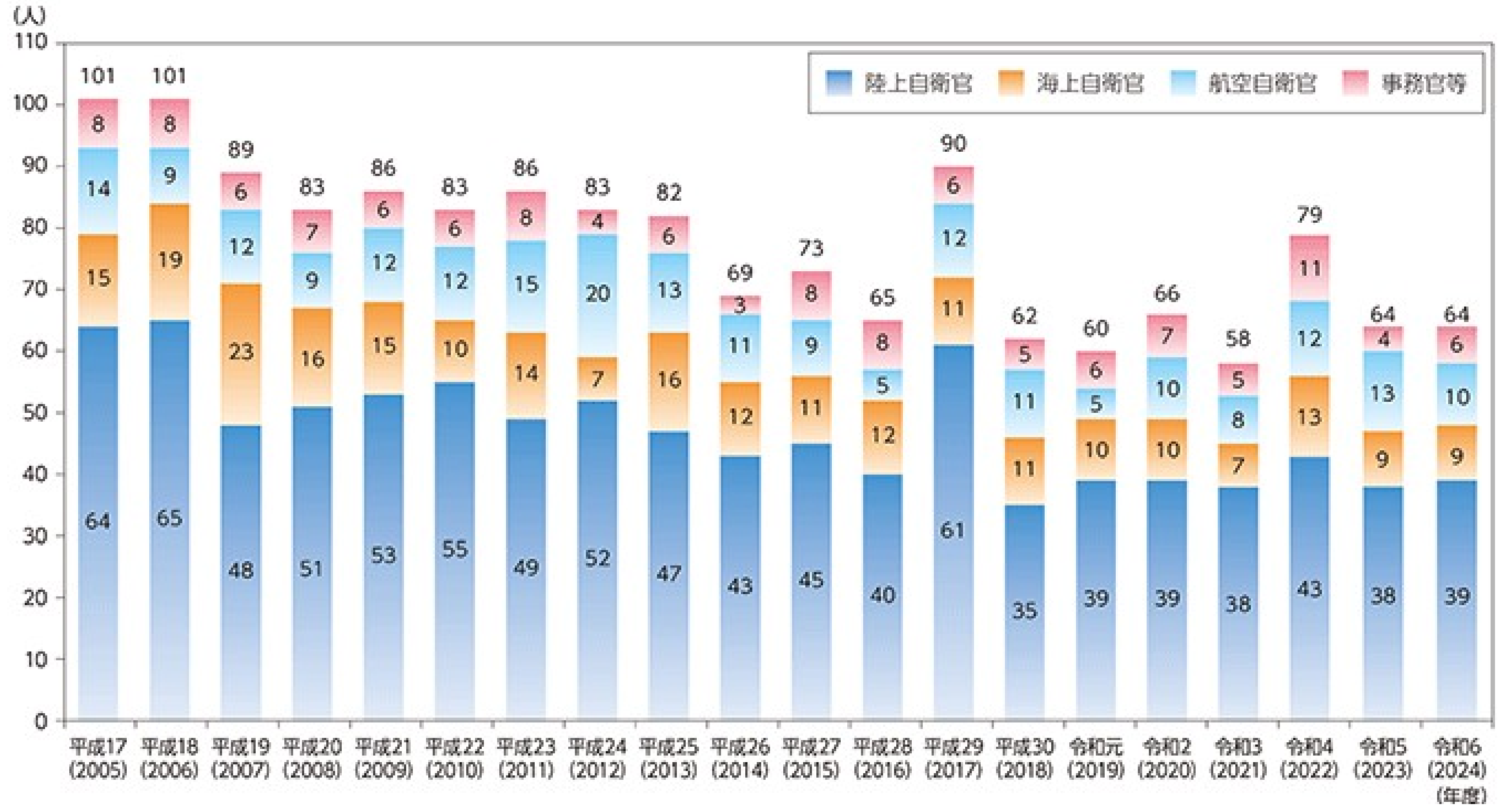
大型揚陸艦「しもきた」(呉)も参加

佐世保の上陸作戦専門部隊「水陸機動団」の隊員330名を載せてフィリピンへ



自殺者の推移　2005年～2024年

図表Ⅳ-3-5　防衛省職員の自殺者数の推移



陸自4隊員を懲戒処分　26年2月17日神奈川新聞

- 陸上自衛隊は16日、生徒に暴言や暴行を伴う指導をしたとして、陸自高等校歌学校(横須賀市御幸浜)の1等陸尉(39)と1等陸曹(50)をそれぞれ停職3ケ月の懲戒処分とした。
- 武山駐屯地によると、１尉は2023年３月ごろから24年1月頃までの間、1曹は23年11月ごろから24年1月ごろまでの間、複数の生徒に対し、暴言をしたり、棒状のものや竹刀で暴行を伴う指導をしたりして身体的、精神的苦痛を与えたとしている。

補給艦「ときわ」の自殺事故　2018年

　　海上自衛隊人事教育局と交渉した。艦長の指導の誤りを認め遺族に補償した

